

ちょうじづか新聞 第36号

国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳整備事業に伴う試掘調査速報

発行日:2005年2月5日(土曜日) 発行:山梨県埋蔵文化財センター資料普及課資料第2担当

しつこいようですが...また例の「木柱」のことです。 材質と残存年輪数がわかったよ!

第10号トレンチから取り上げてきた「木柱」を簡易クリーニングしてみました。
今回は洗ってみてわかったことなど続報をお伝えしましょう!

クリーニング作業中の木柱のようす



木柱の表面は金属製の刃物できれいに「面取り調整」されているよ。おそらく手斧(ちょうな)と呼ばれる鋤形の斧で調整されたと考えられるよ。ちなみに手斧は銚子塚古墳の近くにある大丸山古墳の主体部から出土例があって有名なよ。



年輪10本(10年)に1本づつ針を刺してみました。



大木の端っこを使ったらいいぞ!

木柱の底面はほぼ平坦に切り落とされていたよ。この部分では「年輪」を読み取ることができるんだ。木柱の太さは約20cmあって、そこに約170本の年輪を数えることができたよ。

この木柱は丸太の端っこの部分を使って製材したもの(辺材)だから、少なくとも樹齢170年以上の大木であったことがわかるよ。年輪の残り方から推測すると**樹齢数百年の大木**から切り出したものである可能性もあるよ。



この木柱の材質が何であるのか今までは不明でした。少なくとも「針葉樹」であろうとは推測されていたのですが...今回、某研究機関の御協力を頂き、採取したサンプルを顕微鏡観察していただいたところ、「**スギ**」である可能性が高いということがわかりました。仮に「スギ」であるとすれば、「**年輪年代法**(年輪幅の変動パターンを読みとって、その木材の伐採された年をを特定する年代決定の方法)」による年代特定ができる可能性があります。この木材がいつ頃伐採された木であるかがわかると**銚子塚古墳の造られた年代がより明確にできるかも知れない**のです。このことは、銚子塚古墳のみならず全国の古墳時代研究に資するところ大な取り組みなのです。測定できるかどうか、また測定結果がどのようなのか乞うご期待です!

【連絡先】山梨県埋蔵文化財センター 資料普及課資料第2担当(森原・森屋)

〒400 1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923 電話055 266 3016 ファックス055 266 3882

e-mail morihara-thb@pref.yamanashi.lg.jp

この「ちょうじづか新聞」は「山梨県埋蔵文化財センター」のホームページでも公開中です。YAHOOでも検索可能です。

URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/maizou-bnk/index.htm>